



犬山市議会議員 玉置幸哉 活動報告

玉置ゆきや市民レター

玉置ゆきや 事務所
犬山市羽黒高橋郷 155-3
090-1094-8223
yukiya4356kusi@docomo.ne.jp

第33号 2023年10月1日

9月議会 一般質問

市民交流センターフロイデの管理について

補正理由

令和4年～5年にかけて施設の老朽化調査を実施し外壁や屋根などに改修が必要であることが判明した。施設を安全に使用するために建物の構造体の耐久性を調査しコア抜き取り調査による鉄筋腐食調査をすることにより施設の安全性を確保する。

スケジュール

- 令和5年10月調査業務者選定
- 令和5年10月～令和6年2月調査実施
- 令和6年2月以降 改修計画作成
- 令和6年度～改修計画実施設計
- 令和7年度～改修工事実施（予定）

金額

フロイデ構造体耐久調査業務委託料 2,310,000円

内田多目的広場テニスコート補修について

補正理由

内田多目的広場テニスコートのA面の表面が隆起し盤膨れが発生し、利用に支障が出ている状況であるため補修工事を実施するため。

金額

4,730,000円

スケジュール

- 利用者への周知 令和5年9月～11月
- 補修工事 令和5年12月

利用人数

令和4年度 9,308人

新橋爪・五郎丸子ども未来園整備について

事業目的

橋爪子ども未来園と五郎丸子ども未来園の統合移転により新たな子ども未来園を整備することで建物の老朽化や駐車場不足の課題を解消しより良い保育環境を整備する。

事業内容

橋爪東一丁目地内に当市初となるZEB建築物となる子ども未来園を整備する。

ZEBとは建物で消費する年間の一次エネルギーの収支をゼロにすることを旨とした建物

スケジュール

- 令和5年9月～令和6年3月 造成工事
- 令和6年1月～令和7年2月 建築工事
- 令和7年4月 新園開園

金額

- 建築工事監理委託料 19,294,000円
- 建築工事請負費 1,518,000千円
- 外構工事請負費 79,156,000円

財源内訳

- 二酸化炭素排出抑制対策事業費国庫補助金 118,682,000円
- 市債 1,077,300千円



(新橋爪・五郎丸未来園 構想図)

9月議会 一般質問

犬山市南部の街づくりについて

質問 1

- ① 富岡荒井線開通後に高根洞工業団地から山ノ田腰の間を、私も調査したが朝夕の通勤時に110台～120台ほど抜け道として通行するダンプや自動車がある。山ノ田腰の町内会から危険を感じると相談があったので対策をして欲しい。



(羽黒街づくりの方針図)

- ② 蟬屋長塚線の整備に多額の税金を使うのであれば、その沿線を稼げるようにすべきでないか。市が目指す羽黒の街づくりについてどのように考えるのか

老朽化する水道管について

質問 2

- ① 本年6月に長者町五丁目地内で発生した比較的大きな漏水についての経緯と影響はどうだったか。
- ② 現状の布設替えの計画と課題について
全国でも同じような水道管の老朽化事故が発生している。水道管の法定耐用年数は40年、高度成長期に急速に普及し多くが更新時期を迎えています。当市では布設替えの計画を60年としていますが、これで大丈夫かなと心配しますが今後の課題についてどう考えるか。

回答 1

- ① 既に通り抜けを遠慮して貰う啓発看板を工業団地内の2カ所に設置していますが、今後、地元と調整して集落付近への啓発看板の追加設置などを検討します。

玉置の想い

新たな道路はできて便利になる一方自動車の流れが変化したり、抜け道として既存の道路が使われることになる、近隣との意見調整が事前に必要と思われる。

- ② 羽黒地域の街づくりの方針では「犬山富士線」「蟬屋長塚線」の整備を掲げ羽黒の東西の交通円滑化を図り、地域のポテンシャルを高めることで市街地における商業など都市機能の向上を促します。「蟬屋長塚線」沿線の一部を新市街地検討エリアに設定し、住宅や一定の規模の商業施設などの立地を可能とする市街化区域への編入を検討する方針としています。

回答 2

- ① 本年6月21日深夜2時ごろに道路内に設置してある鉄蓋から水が吹き上がっているとの通報を受け現地を確認したところ、地下埋設式の消火栓バルブが老朽化により破損し、漏水を起こしていることが判明した。断水範囲は長者町6丁目地内の一部に限定され影響は最小限に抑えることができた。一部区域では濁り水の発生や水圧低下がありましたが個別に対応し同日中には概ね問題解決しました。
- ② 水道管の耐用年数は40年ですが実質使用に耐える年数として国や他の自治体の例を参考に1.5倍の60年を想定しています。市内全域の水道管の更新は60年で考えており年間約7.5kmの目標で工事を進めています。物価高騰や人件費の高騰により工事価格の上昇、浄水場の長寿命化を図っていくこと加えて人口や節水装置の進歩における水道使用の減少も今後の課題と考えます。